

■会長/加藤明博 ■幹事/川村総一郎

◆司会=岩波寿亮副SAA

◆ゲストビジター=米山奨学生の伍耀揚様、東京・神田ロータ

リークラブの荻原年様

◆出席報告

本日	57.14%	21名欠席
前回訂正	97.78%	5名欠席

◆ラッキーナンバー=No.24 吉越 潔 君

◆ニコニコボックス=●加藤明博君・川村総一郎君=伍耀揚(シ イウヨン マックス)様、諏訪ロータリークラブへようこそ。本日は宜しくお願いします。●小口武男君=米山奨学生のマックス君ようこそ。本日は宜しくお願いします。●岩波寿亮君=布半さんの改修工事をしています。ありがとうございます。よろしくお願ひ致します。●北川和彦君=急に寒くなりました。皆さん風邪をひかないように気をつけましょう。●玉本広人君=本日、早退させていただきます。●花岡秀則君=結婚記念日にお花をいただき。●吉越潔君=ニコニコボックスに当たって。プラス誕生月ありがとうございます。

◆会長告知・加藤明博会長=ロータリー第2600地区、上沢ガバナリーは「ロータリーの友」の中で、ロータリー活動では職業奉仕が一番好きと言われております。職業奉仕を通して事業を反映させ、その利益の一部をロータリー財団に寄付する。そんな活動を拡大していきたいと話しておられます。奉仕とは、報酬や見返りを求めずに行動や活動をすること。また自分の持っているものを分け与えることですが、奉仕の先にあるものと考えたとき一番初めに思い浮かぶのはやはり平和ではないでしょうか？ロータリーの会長を拝命していますとこんなことも考えるようになります。ぬのはんの社員の方に平和とは何？と数人に聞きましてところ、大半の方が戦争のない国、またコロナウイルスのような病が流行らないこと、また、核のない国と答えていました。どれも正しい答えだと思います。辞書で引いてみましたところ、やはり平和とは戦争や紛争がなく、世の中が穏やかな状態と書かれてあります。私はもう少し深く考えていました。平和とは、まず全ての人々が人として尊厳が守られること。次に全ての人々が政治に参加できること。三つ目は全ての人々が法のもとで平等に守られること。最後に人が平等に教育と医療が受けられることではないかと考えました。1960年にアメリカと安保条約を日本は結び、戦争には参加しないとなっています。当たり前のように温かい食事をきちんととってそんな私達がほんの少しでも良いから困っている人たちに何かを分け与える。奉仕の精神を基本はそこにあるのではないかと考えます。自分が足りていれば、困っている人にほんのわずかでも良いので分けてあげる。人は自分より弱い立場の人に対する態度で価値が決まるといった人がいます。私のようなものでも、ロータリークラブに10年在籍させていただいているとこんなようなことも考えるようになりました。人は生まれてくるときに、親や国を選べませんが、私は恵まれたなと思っています。これからも自分の身の丈に合

った生活をしてロータリーアンとして奉仕活動に力を入れていきたいと思っています。

◆幹事報告・川村総一郎幹事=①本日の例会はクラブフォーラム 米山月間です。米山奨学生のシ イウヨン マックス様にお越しいただきました。ようこそ諏訪ロータリークラブへ。後ほどご挨拶頂きます。宜しくお願い致します。②10月のロータリーレートは145円です。③今年度の地区大会が11月5・6日に更埴文化会館にて開催されます。出欠未回答の会員は早めに回答を事務局宛てに提出してください。④昨日、加藤会長、小口泰幸副会長、河西ロータリー情報委員長、山本社会奉仕委員長、玉本プログラム委員長と共に城南小学校へ伺い、図書贈呈式を行ってまいりました。当日の様子は11月18日の例会で詳しくご報告させていただきます。⑤先週の例会時に紹介いたしました新会員候補の株式会社八十二銀行諏訪支店の増田支店長ですが一週間会員皆様からの異議ございませんでしたので入会の手続きを開始いたします。

◆東京神田ロータリークラブ・荻原年さん=コロナが収束しないものですから、普段は東京に住んでおりますが、蓼科にある山小屋にずっと来ています。困ったのはメーキャップがなかなかできないことです。諏訪ロータリークラブの伝統ある会場に出ささせていただくと、ロータリーの雰囲気がよく感じられるので、今日は何年ぶりか皆様のクラブにメーキャップさせていただきました。宜しくお願いします。

◆委員会報告●社会奉仕委員長・山本實君=10月16日のロータリー奉仕デーは諏訪湖畔清掃です。当日、参加者にはお弁当を準備します。参加できるメンバーがいましたら、お願いします。小雨決行。新たに製作されたオレンジ色のジャンパーを着用して来てください。午前7時50分に湖畔公園内にあるやすらぎ像前に集合。8時頃から清掃開始です。下諏訪境の民宿あひる前の湖畔公園までの約1.1キロを1時間半くらいかけて9時半頃までごみ拾いをします。ご協力をお願いします。

◆クラブフォーラム米山月間●米山奨学会委員長・小口武男君=10月は米山月間です。マックスくんは香港出身でホストクラブは長野野ロータリークラブです。現在長野県立大学のグローバルマネジメント科の3年生。彼は日本が好きで10年ぐらい前から日本語を勉強しているということでもあります。今日はどんな話をしてくれるのと言いましたらううご期待ということでもあります。ぞ期待をしてお伺いしていただきたいと思っています。宜しくお願いします。

●米山奨学生・伍耀揚(シ イウヨン マックス)様=マックスと申します。宜しくお願いいたします。本日の卓話ですけどテーマは「言葉、文化、そして繋がり」。今までの自分のこれまでの体験と経験を踏まえて伝えたいことを発表したいと思います。簡単な自己紹介です。日本に来る前はメルボルンの大学でソフトウェア工学を勉強していました。家庭の事情で中退して、香港に戻って眼鏡屋さんに就職しましたが、会社がブラックすぎて、体がもたないから辞めて翻訳通訳、中国語、広東語、英語、日本語の翻訳通訳をやっていました。自分はまだ勉強したいという気持ちがあつて今に至ります。



言語、文化とは何でしょう。言語は文化に影響され、文化はまた言語に影響されるというその表裏一体の関係にあります。例えば香港の言語と文化は、言語時代が文化そのものを表している。スラングとか食べ物とか、人の性格とか。どうして日本人の性格と香港人の性格そんなに差が出ているんでしょうか？というのがその言語と文化にあるんじゃないかと思っています。どうしてこの言語と文化の両方を分断してはいけないというのですか。まず「国民性」、「地域色」、あと「規範」と三つを考えつきました。

よく言われているんですけど、日本人の言語はハイコンテスタなので、自分の考えはあんまり口にしないで相手はわかってくれるという文化があるんです。やっぱり周りの人の気持ちに配慮をしつつ、何か気を使っちゃったら良くないってことで。それが原因で即断即決ができなくてなかなかミーティングとか会議とか、長い時間をかけて結論がなくて、みんなのハーモニー、同じ結論にたどりつかないと気が済まないということがあります。

地域色というものは、例えば山の多い長野県では、オリンピックとか大きいイベントがなかったら、新幹線とかインフラがなければ、外部との連絡、コネクションがないので、そのせいで閉鎖的静かな県民性もあります。自分は突っ込み、ボケが結構好きで、長野県の友達の前でぼけてみたら「ああ、そうですか」で終わりました。ノリが悪いというか。いろんな場所、いろんな相違点。例えば商いの街の大阪では、やっぱり元はビジネスがメインの街で、その個性の強い方言、気軽に話せる。付き合いやすいという点が挙げられます。

最後の規範ですけど文化、教養、倫理観、IT 地域活動、感性上昇。それが言語と文化がこの規範によって私達がそのらしさ、あるべき姿、性格、つらなることそれが規範で、その言語と文化両方が結局が表裏一体の関係にあります。日本だけでなく海外で香港で、もっといろんな日本人と外国人に聞きました。

例えば、どうして日本語以外を使う機会に喋らないんですか。例えば英語です。英語の授業が面白くない、あと学んでも応用できない。単語とか文章を暗記させられて結局その外国人と接する機会がなくて、何のメリットがあると思っているのではないですかね。あと、ELT、外国人の先生が、日本でやっている人外国人の英語の先生なんですけど、その語学力、英語しか求められていないんですから、自分の人間性がすぐに否定されて、あるいは英語以外の言語以外見られてないのはちょっと残念なところです。

あと、母国語の日本語で十分。日本で結構快適な生活ができて、海外に行かなくても生活ができる。海外に行ってもわざわざ喋れないですから、外国に行っても意思疎通できないという点で苦しめられる。居心地の良い環境から出るモチベーションが低いんです。最後の世界との繋がりが弱い。日本は島国なんですから、例えばいろんな人が海外からサブカルチャー持って帰ってきてでもそれがローカライズ、それで日本の形にはめて、結局それは完全に海外の文化じゃなくて文化の違いが残っている。こういう点が挙げられます。

最後、結構最近考えてることなんですけど、そのせいで言語の消滅危機があるんじゃないですかね。例えば今、日本のアイヌの言葉が今後消えてなくなる可能性があって、その原因は何でしょうか？

グローバリズム、スタンダード、デジタル化、文化的抑圧。スタンダードというのは、みんなが守らないと駄目。1人を個でみるのではなくて集団で見ること。例えば、追いつかない人を見捨てられて、スタンダードになる。例えばバスケットチームの人が背が高くないとできないという点が残念です。あとデジタル化。デジタル化というのは利益のない部分が切り捨てられ、残るものが有益な部分だけという、その言語、文化、そもそも形のないものは有益とか有益じゃないものじゃなくて、全体図を見渡して、それが言語と文化そのものです。別に一部を切り捨ててはいけないと思っています。

あとは文化的抑圧。例えば香港もそうなんですけど、イギリスに植民地にされて一部の中国文化がなくなって、うまくイギリス文化と融合して今の香港になるんですけど、そのせいで、香港の元の文化は消えつつあります。

結論としては、やっぱり現在、言語と文化が分断されていると思われています。例えば先ほど述べた英語授業とか、それは単なる言語そのものを暗記することで、文化の探求ではない。そもそも言語を学んでも言語の本質文化に触れないことは言語を学び勉強することとは言えません。そのせいで語力がなくてコミュニケーションへの意欲がなかなか出てこない。あと、資本主義というのは何もかも分担して、役割等が決め付けられて結局自分の居場所とか決められちゃって。文化、例えば儲かる部分と儲からない部分が、さっきのデジタル文化もそうなんですけど、ちょっと悲しい話です。自分の古里もそうなんですけど。広東語という方言を喋ることが許されず、今後はみんなスタンダードで北京語を喋っていくということを強いられています。あと、進化論はそもそも間違っていて、その自然淘汰説と競争だったんですけど、そもそも私達はみんな競争しあってここまで来たわけじゃなくて、みんなが協力しつつ困難を乗り越えてで今に至ると思っています。

◆今後の例会日程

10/16(日)	ロータリー奉仕デー (諏訪湖清掃)
10/21(金)	アクト合同例会 (夜から昼開催へ変更)
10/28(金)	休日